

ワクワクの未来へ
走りだそう。

YAMAGUCHI
RA



HIGH SCHOOL



岩倉高等学校

運輸科って、どんなところ？ 先生たちに聞いてみました。



鉄道のプロへの近道。夢をかなえる場所です。

「将来、鉄道の仕事をしてみたい」そんなワクワクする夢を持っている君へ。岩倉高校の運輸科は、日本でもめずらしい「鉄道のプロ」をめざすための特別な場所です。本物の運転台のような「シミュレータ」を使った実習など、普通の高校では学べない本格的な授業がたくさんあります。教えてくれるのは、元・運転士さんや車掌さんなどの経験豊かな先生たち。現場を知っている先生だからこそ、仕事の楽しさだけでなく「安全を守るためのルール」の大切さもしっかり教えてくれます。

岩倉高校のもっとも大きな魅力は、卒業してすぐに憧れの鉄道の世界で活躍できること。さまざまな鉄道会社から数多くの求人が来ます。鉄道のことを幅広く学べるので、実際に鉄道会社に入ってから仕事覚えるのが早く、20歳になる前に車掌になることもあります。鉄道の仕事を夢みる同じ目標を持つ仲間たちと一緒に、大きく成長できる3年間を過ごすことができます。これからは国内だけでなく世界にも可能性が広がる日本の鉄道の未来。その第一歩を岩倉高校からはじめてみませんか。



大日方 樹 先生
担当授業：運転業務・ホスピタリティなど
鉄道模型部 顧問

24時間、仲間と過ごせる「人間性」

私は大学で工業を学び、マシンメーカーで働いた後、「体育の先生になりたい」という夢をかなえるために教員免許を取り直しました。実はラクロスの元日本代表候補でもあり、東京都交通局（都営地下鉄）で働きながら競技を続けていました。岩倉高校の運輸科には「鉄道のプロになりたい」という強い目標を持つ生徒が集まっています。その向上心は本当に素晴らしいです。授業では旅行実務などを担当していますが、いまの時代は運転するだけでなく、英語での案内や映像制作など、いろいろな知識を組み合わせることで世界がもっと面白くなります。鉄道の現場は24時間、仲間と一緒に過ごす場所だからこそ、技術だけでなく「周りへの気づかい」ができる人間性を育てたいと思っています。



開 歩 先生
担当授業：営業概論・旅行実務など
ラクロス部 顧問



角田 貴則 先生
担当授業：営業概論・運転業務など
陸上競技部 顧問

ルールを守れる強い心を作ろう

私の人生は「走ること」が中心でした。大学時代には箱根駅伝を2回走り、卒業後は実業団ランナーとしてJR東日本に入社しました。現役引退後は車掌や運転士として勤務しましたが、心のどこかにあった「教員になりたい」という夢をあきらめきれず、39歳で岩倉高校の先生になりました。伝えたいのは「視野を広げること」の大切さです。運転士に憧れる人は多いですが、鉄道は目立たない場所で支えるたくさんの「縁の下の力持ち」がいて初めて動きます。岩倉高校は校則が厳しいと言われることもありますが、それは鉄道員として欠かせない「ルールを守る心」を育てるためです。学業と部活動の両方に全力で打ち込み、人間として大きく成長したいという意欲のあるみなさんを、私たちは全力で応援します。

原拓也 先生
担当授業：鉄道概論 電車工学 数学Ⅰなど
鉄道研究部 顧問



鉄道の仕事は、体験して学ぶ。

運輸科の特別授業をのぞいてみよう！

岩倉高校の運輸科では、本物の鉄道現場と同じ設備を再現した実習室でプロの技術を基礎からじっくり学びます。案内してくれるのは、JR東日本で車両のメンテナンス、運転士、車掌、指令員などの豊富な経験をお持ちの原先生。さあ、ワクワクの未来へ出発進行！

校内に本物の駅を再現！

鉄道が安全に走るための「仕組み」を勉強する「鉄道概論」という授業があります。実習室にある本物の電車、ホーム、踏切、線路を使って、線路の構造や踏切のルール、そして運転士さんに速度を伝える信号の意味など、基礎からじっくり学べます。普通は見られない鉄道の裏側まで自分の目で確かめることができる運輸科ならではの科目です。

まず踏切の仕組みから



必ず指差し確認を

運転士の仕事を体験！

列車の運転をリアルに体験できるのが「運転業務」の授業です。本物の運転台とほぼ同じシミュレータで実習を行います。決められた時間にぴったり駅に止まる難しさや、天候に合わせたブレーキの操作など、元・運転士の先生から、運転の技術だけでなく、安全を守るための厳しいルールや、運転士として大切な心構えも学べます。

ドアはランプで確認

車掌にもチャレンジ！

ドアの開け閉めや車内アナウンスなど、車掌の仕事をシミュレータで体験します。正しい姿勢や動作だけでなく、接客するときのいい言葉づかいも学びます。さらに、車椅子や白杖をお使いの方をサポートする「ホスピタリティ」の実習もあり、どんな人にとっても優しく安全な鉄道のサービスをお届けできる心を養います。



部活だって、鉄道にこだわる。

鉄道模型部

ジオラマでみんなの想いをかたちにする。

全国大会での優勝経験もある、活気あふれる部活です。本物と見違える精巧なジオラマを制作し、仲間と協力して、スケールの大きなひとつの作品を作り上げる楽しさは格別です。合宿では地方鉄道を訪問して車庫見学や貸切列車の運転を行うほか、岩倉祭ではシミュレータ体験や、地方鉄道のグッズ販売も行います。



工作研究部

岩倉高校の伝統「ミニSL」を受け継ぐ。

ものづくりが大好きな生徒たちが腕を発揮。文化祭では実際に人が乗って走ることができる「ミニSL」を自分たちの手で運行させるなど、岩倉高校の名物イベントを支えています。機械の仕組みを学びながら、動かす喜びを体験できるのが大きな魅力です。



このほか鉄道以外の部活も充実！ 運動部も文化部も全国レベルで活躍中。

好きなことを、思いっきり。

運動系で13部、文化系で15種類のクラブ活動が行われています。スポーツ、音楽、演劇、放送、伝統文化など、好きなことに打ち込める環境が整っています。



好きな鉄道をマニアックに掘り下げる。鉄道をこよなく愛する生徒たちが「撮影」「音鉄」「乗鉄」「旅行」など専門班に分かれて活動。鉄道関連の写真撮影や音の収録、各地への乗車旅行、路線の研究などを行っています。放課後や休日には時刻表を片手に次の計画を話し合ったり鉄道を通じたボランティア活動も行っています。

鉄道研究部





卒業生 東京メトロ勤務
白岩 野乃花さん



卒業生 今春より東京メトロ就職
高橋 煌真さん



在校生 2年生
三浦 誓さん



在校生 1年生
吉本 樹さん

※学年は取材時点のものです。

夢をかなえた先輩に質問。 運輸科って、どうでしたか？



すでに東京メトロで活躍中の白岩さん、卒業して東京メトロへの就職が決まった高橋さん。
在校生の三浦さんと吉本さんが、2人の先輩に高校時代のことを聞いてみました。

大好きな鉄道を、一生の仕事にできる学校。

—— 岩倉高校の運輸科を選んだ理由は？

白岩： いちばんの理由は、兄が岩倉高校の運輸科の卒業生だったことです。兄が高校卒業後、そのまま鉄道会社に就職して駅員として働く姿を見て、「就職も大学進学もどちらも選べる岩倉なら、自分の将来をしっかり考えられる」と思い、入学を決めました。



高橋： 父が鉄道会社に勤めていた影響で、幼い頃から鉄道に興味がありました。中学生の時に、父から岩倉高校のことを教えてもらい、学校見学でのシミュレータ体験などに衝撃を受け、「この学校なら夢がかなえられる」と確信しました。

—— 高校時代で印象に残っていることは？

白岩： 運輸科ならではの「実習」の授業です。シミュレータを使って、クラスメイトと交代で運転士や車掌の役割を体験したことは、いまでも鮮明に覚えています。また、私は鉄道模型部に所属していたのですが、岩倉祭に向けて仲間と巨大なジオラマを作り上げたことも大切な思い出です。放課後遅くまで残って作業した時間は、いまの仕事に通じる「チームワーク」の大切さを教えてくれました。

高橋： やはり、夢だったシミュレータ実習です。最初はレバーの操作が難しく苦戦しました。先生から「運転士は数百人の命を預かっているんだ」というプロの厳しさを教わり、身が引き締まる思いでした。就職活動での「面接練習」でも担任の先生に厳しく指導していただいたおかげで、無事に内定をいただくことができました。



運輸科で学んだ3年間で鉄道のプロとしての自信に。

—— 3年間で「成長した」と感じる部分は？

白岩： 鉄道の基礎知識はもちろんですが、何より「鉄道好きだけでは仕事はできない」という自覚を持てたことです。お客さまにご案内するとき、自分のスキルをどう活かせるか、その視点を持てるようになったのがいちばんの成長です。
高橋： 「人としての心」がもっとも成長したと感じます。「ホスピタリティ」の授業で身体の不自由なお客さまへのご案内方法を学んだり、担任の先生との厳しい面接練習を繰り返したりすることで、社会人としての土台ができました。

—— 岩倉高校をめざす後輩にアドバイスを

白岩： 岩倉高校は、同じ「鉄道」という夢を持つ仲間が集まる場所です。先生も元・運転士さんなど現場を知るプロばかりなので、教科書には載っていない生の話を聞くことができます。「鉄道が好き」という気持ちがあれば、ぜひ、この門を叩いてみてください。
高橋： 同じ夢を持つ最高の仲間と、それを支えてくれる熱い先生がいます。みなさんも、自分の「好き」という気持ちを大切に、夢に向かって突き進んでください。



東京メトロ本社に行ってみた！

白岩さんの勤務する東京メトロ。上野駅前にあり岩倉高校からも近い本社を訪問！中は緊張した雰囲気かと思えば、意外にもなごやかな感じで、みなさん楽しそうにお仕事をされていました。岩倉高校卒業生の方もたくさん在籍しているそうです。帰りにメトログッズをいただき、色々な商品があることを知るなど新たな発見もありました。社員の皆さまありがとうございました。



年間行事

4月

- ・始業式
- ・入学式
- ・健康診断
- ・「運輸科を知らう!」授業体験会

5月

- ・土曜プログラム体験期間
- ・公営鉄道採用説明会(3年)
- ・1学期中間試験

6月

- ・進路行事
- ・校外学習
- ・創立記念日
- ・体育祭

7月

- ・1学期期末試験
- ・1学期終業式
- ・夏期講習
- ・鉄道実習

8月

- ・夏の見学会
- ・夏期講習
- ・旅行業務取扱管理者講習
- ・鉄道実習

9月

- ・2学期始業式
- ・防災避難訓練
- ・岩倉祭(文化祭)
- ・学校説明会

10月

- ・2学期中間試験
- ・学校説明会

11月

- ・DISCOVERY JOURNEY
(修学旅行2年)
- ・スポーツ大会・芸術鑑賞会(1・3年)
- ・班別研修(1年)
- ・就職内定者講話(2年)

12月

- ・2学期期末試験
- ・鉄道実習
- ・2学期終業式

1月

- ・3学期始業式
- ・推薦入試
- ・大学共通テスト
- ・百人一首大会

2月

- ・一般入試

3月

- ・卒業式
- ・3学期期末試験
- ・修了式
- ・春期講習



卒業しても、ずっとつながる仲間の輪。

同じ夢を追いかけた仲間や先生との絆は一生もの。仕事の相談などで母校を訪れる卒業生も多く、旧友と偶然再会して励まし合う姿も岩倉ならではの光景です。

へえー! そうなんだ! 岩倉高校ミニトリビア

岩倉高等学校

未来

岩倉祭で「ぬれ煎餅」大人気!

毎年、岩倉祭で大好評なのが、千葉の銚子電鉄名物「ぬれ煎餅」の販売。鉄道模型部が銚子電鉄を応援しようと始めた企画です。

ミニ蒸気機関車の基地がある?

幻の蒸気機関車「C63」をベースに作った岩倉高校伝統のミニSL。その車両は校門近くの専用機関庫で大切に保管され岩倉祭などで運転されます。

校外学習や合宿は貸切列車で!

貸切列車で見学や旅行を行うのが運輸科や鉄道系部活の伝統。オリジナル「ヘッドマーク」を作って特別な旅を盛り上げています。

図書室はまるで鉄道資料庫!

岩倉高校の図書室には鉄道関係のありとあらゆる書籍がぎっしり。新刊も充実していて鉄道好きには1日中いても飽きないスペースです。

学校法人明昭学園 **岩倉高等学校**

〒110-0005 東京都台東区上野7-8-8

<https://www.tky-iwakura-h.ed.jp/>

アクセス: JR上野駅入谷口からすぐ
東京メトロ上野駅 徒歩3分
京成電鉄京成上野駅 徒歩6分

